

★おとな向けセミナー『サービス介助セミナー』★

令和元年11月19日(火)那覇市総合福祉センターにて、一般向けサービス介助セミナーを実施しました。講師として高井あや子さんをお迎えし、応募があった企業の方や市民の方、合計18名が参加されました。

一般向けサービス介助セミナーは、那覇市に在住・在勤の方であれば、参加する事が出来ます。

ご興味がありましたら、ぜひご参加ください！

(今年度のセミナーは終了しました)



白内障になると、こんなに近づかないと見えないなんて・・・

白内障ゴーグルを着用すると色つきの文字が見えにくい。



介助する時にも、必ず声かけをしてからお手伝いしましょう！知らない方に急に体を触られると怖いですよね。「何かお手伝いしましょうか？」等声をかけてあげてください。



皆さん白内障ゴーグルをつけたリ取ったりして見え方の違いを体験されていました。

福祉のまちづくりパネル展

・福祉政策課では、年に1度『福祉のまちづくりパネル展』を実施しています。子どもセミナーに参加した子ども達が作成した福祉新聞などを掲示して、来庁される市民の皆様への福祉のまちづくりに関する情報発信を行っています。来庁された際は、ぜひお立ち寄りください。

(今年度は3月上旬に開催予定です)



「福まちだより」

バリアフリーでみんなが笑顔のまちづくり

那覇市では『福祉のまちづくり条例』のもと、

すべての市民が住みなれた地域で、

安心して暮らすことができるよう、

さまざまなバリアを取り除く第一歩として

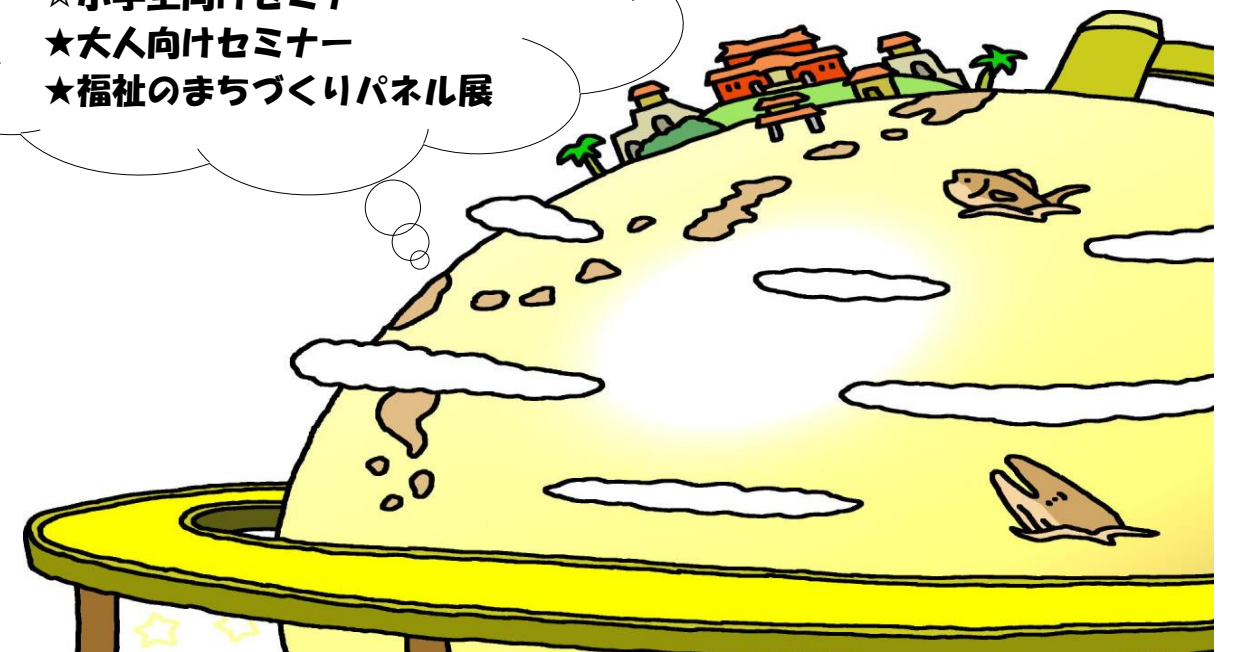
『心のバリアフリー』を推進する取組を行っています

【 今号の内容 】

☆小学生向けセミナー

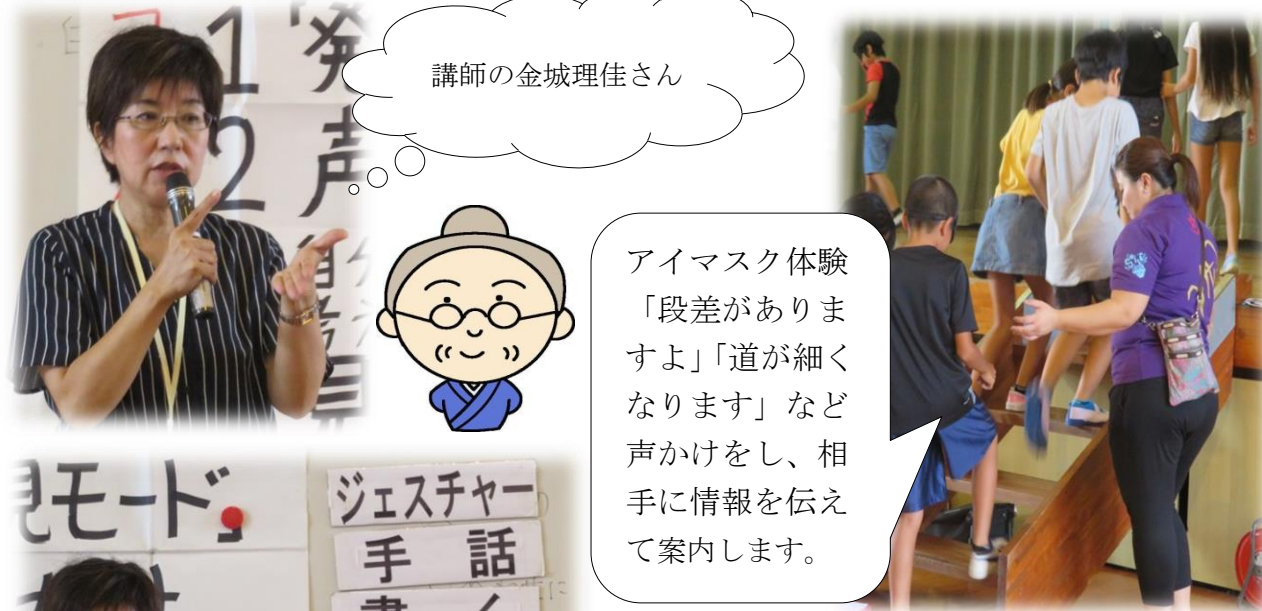
★大人向けセミナー

★福祉のまちづくりパネル展



★子ども向けサービス介助セミナー★

毎年、那覇市内の小学校を対象に子ども向けセミナーを行っています。セミナーを通して、子ども達にお年寄りや障がいのある方の気持ちやどんなお手伝い出来るのか考えるきっかけづくりをしています。



講師の金城理佳さん



アイマスク体験
「段差がありますよ」「道が細くなります」など声かけをし、相手に情報を伝えて案内します。

無理なお手伝いは、お手伝いをする方もされる方もケガをしてしまう可能性があります。自分では出来そうにない時は、大人を呼んでくるようにしましょう。『大人を呼ぶこと』も大切なお手伝いです！

聴覚に障がいのある方には、手話以外にもたくさんコミュニケーションの取り方があります。



補助犬はお仕事です。町で見かけても触ったり、エサを与えたりしてはいけません。



★障がい当事者講話★



松川小学校では、電動車イスを利用している迎里崇雅（むかえざとたかつね）さんを講師に迎え、子ども達のいろいろな質問に答えて頂きました。子ども達からは、「お仕事はなにをしていますか？」「旅行にはいきますか？」など様々な質問が挙がり、迎里さんは1つ1つの質問に丁寧に答えてくださいました。

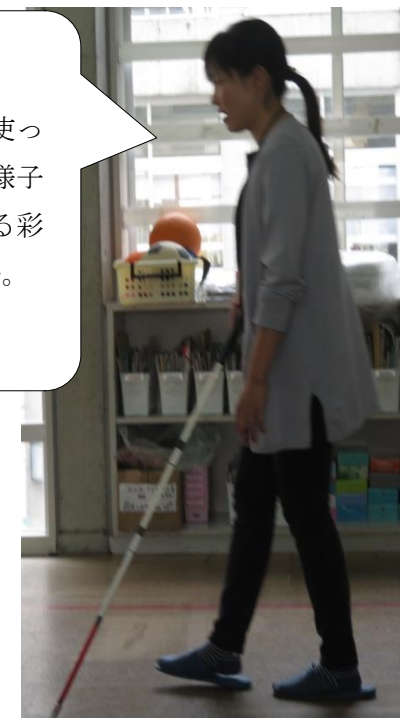


迎里さんのお話を聞く子ども達

お札の見分け方を教えています。



白杖を使って歩く様子を教える彩花さん。



さつき小学校では、視覚に障がいのある金城彩花さんを講師に迎え、お札の見分け方や子ども達の質問に答えて頂きました。講話の中で、彩花さんに唯一できないことがあるとの話がありました。それは、「車の運転」だそうです。ただ、それも将来自動運転が出来るようになれば運転できるようになる！とお話されていましたよ。

